

平成19年2月2日

各 位

会社名 松尾電機株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 清水 巧
コード番号 6969 大証市場第2部
問合せ先 執行役員総務・経理部門長 竹野井 薫
TEL (06)6332-0871

平成19年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等をふまえ、平成18年10月27日に公表した、平成19年3月期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）の業績を下記のとおり修正致します。

記

A. 通期業績予想の修正

1. 連結業績予想の修正

(単位：百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	8,350	90	90	65
今回修正予想 (B)	8,130	△ 160	△ 160	160
増減額 (B-A)	△ 220	△ 250	△ 250	95
増減率 (%)	△ 2.6	—	—	146.2
前年同期実績 (平成18年3月期)	8,177	73	67	59

2. 単独業績予想の修正

(単位：百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	8,300	80	80	55
今回修正予想 (B)	8,060	△ 120	△ 120	100
増減額 (B-A)	△ 240	△ 200	△ 200	45
増減率 (%)	△ 2.9	—	—	81.8
前年同期実績 (平成18年3月期)	8,099	90	89	85

B. 修正理由

ー通期業績予想について

第3四半期までの売上の進捗状況に加え、第4四半期（1月～3月）の見通しを勘案し、業績予想を修正いたしました。

【連結】

当社グループはタンタルコンデンサ、回路保護部品の製造・販売を事業としており、当第3四半期連結総売上に占める割合は前者が約83%、後者が約11%です。

当第3四半期に於いて、主力のタンタルコンデンサは、車載用等の産業機器分野及びビデオカメラ、デジタルカメラ等民生用機器分野への出荷が堅調に推移し、売上高は前年同期比4.4%増加しました。しかしながら、回路保護部品は、海外向け売上高は増加したものの、国内の民生用機器分野において厳しい販売競争による価格下落や、代替部品へのシフトのため著しく売上高が減少し、売上高は前年同期比27.3%減少しました。

また、下半期に売上を見込んでいた導電性アルミ電解コンデンサ等の新製品の寄与も当四半期においては僅少となりました。その結果、当第3四半期の売上高は6,063百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

費用面につきましては、当期より出荷数の増加している超小型下面電極チップタンタルコンデンサの歩留まりが計画値に達せず製造費用が増加し、また同コンデンサのラインナップの拡張に係る費用も増加しました。

営業損益、経常損益につきましては、販売価格の下落及び上記費用増加に加え、タンタルコンデンサより収益性に優る回路保護部品の売上減少の影響を受け、損失に転じました。第4四半期につきましても、第3四半期とほぼ同様の傾向が続くと見込んでおり、営業損益、経常損益については、黒字であった前回公表値を下回り赤字化するものと見込まれ、誠に遺憾ながら、ここに修正いたします。

当期純利益につきましては、特別利益に当社保有投資有価証券に対する友好的TOBに応じたこと等による投資有価証券売却益を計上したため、前回公表値を上回るものと見込んでいます。

【単体】

上記【連結】に記載した理由と同様の理由により、前回発表値を修正いたします。

(注)上記業績予想につきましては、現時点で入手利用可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、様々な不確定要因が内在しています。今後当社グループを取り巻く市場の経済情勢等により実際の業績は、上記記載の業績予想数値と異なる可能性があります。

以 上